

函館国際水産・海洋都市構想

Concept of Hakodate International Fisheries and Ocean City





海

「函館国際水産・海洋都市構想」とは

対馬海流・リマン海流・親潮(千島海流)という3つの異なった海流が流れ込む恵まれた地理的・自然的条件にある函館地域は、水産・海洋に関する優れた学術研究機関や関連産業が集積しています。

こうした地域の優位性をより高めようと生まれたのが「函館国際水産・海洋都市構想」です。目指しているのは、国際的な水産・海洋に関する学術研究拠点都市の形成であり、産学官が連携して、マリンサイエンス分野で世界をリードする研究成果や革新技術を生み出し、雇用の創出と産業経済の活性化に結びつけるのがねらいです。

平成15年3月に策定され、以来、地域の産学官が一丸となって推進に取り組んでいます。



水産・海洋都市としての資質に優れた函館。

海と暮らす Life with Oceans

函館は、津軽海峡に面していることから、北海道と東北地方を含む北太平洋と日本海を研究の対象海域とすることができることや、道南周辺の海域には、暖流である対馬海流と寒流である親潮（千島海流）、リマン海流が流れ込んでいることなど、水産・海洋に関する研究を行ううえで地理的・自然的条件に恵まれています。

●日本近海の海流



●函館市の学術研究機関



海

から学ぶ Learn from Oceans

函館には、北海道大学大学院水産科学研究院や函館水産試験場などの優れた水産科学系の学術機関や、情報系、工学系、人文社会科学系の学術研究機関、産学官連携の取り組みに実績のある道立工業技術センターなど多くの学術試験研究機関が立地をしているほか、調査船が停泊できる重要港湾を完備しているなど、水産・海洋に関連する研究を高度化する上で優れた環境が整っています。

●函館の水産・海洋関連産業

海を活かす Make use of Oceans

函館には、地域の海産物を活かした水産食品製造業や東北以北最大の造船所である造船業が発達しているほか、関連する機械器具製造業など、水産・海洋に関連する特徴のある産業が集積しています。また、近年ガゴメ昆布に含まれる機能性成分に着目した研究などから、多くの新商品が開発されるなど、産学官の連携も活発に行われています。



水産・海洋に関する学術研究機関の集積

- 水産・海洋に関する学術研究機関の充実・誘致
- 国際的な水産・海洋研究機関の事務局や支部および学会等の誘致
- 調査船等の寄港基地化
- 知的人材の集積

▶ 学会誘致

国際的な水産・海洋研究機関の事務局や支部および世界・全国規模の学会等の誘致に取り組む。



▶ 函館市国際水産・海洋総合研究センター

水産・海洋分野の先端的で独創性のある研究開発を支援し、学術、教育および産業の発展に資するために整備された入居型の貸研究施設です。

施設には、海水を利用した実験などを行うことができる実習室や実験水槽室のほか、学会などの開催が可能な大会議室などを備え、調査研究船が接岸できる岸壁に隣接しています。



函館市国際水産・海洋総合研究センター

地域と学術研究機関の連携

- 高等教育機関と研究機関との連携
- 研究を支援するための環境整備
- 起業化支援環境の構築



▶ 函館マリンバイオクラスター形成事業

平成15年に採択を受けた文部科学省の都市エリア産学官連携促進事業から始まり、平成21年度から実施した地域イノベーション戦略支援プログラムなどにより、ガゴメ昆布などの海藻に含まれる機能性成分に着目した取り組みにより、多くの新商品開発に結びついたほか、海洋環境の計測と予測システムの開発など様々な成果を上げています。また、平成20年には、「函館マリンバイオクラスター形成の推進」として、産学官連携功労者表彰(文部科学大臣賞)を、道内で初めて受賞しました。



▶ 一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構

函館国際水産・海洋都市構想の推進母体として、地域の産学官により平成21年4月に設立された団体です。地域の産学官をつなぐ、コーディネート的な役割を果たすほか、研究成果を紹介する市民講座や海に関するイベントの開催、研究開発事業実施時における管理法人を努めるなどの活動を行っています。



観光と学術研究の融合

- 観光資源の有効活用
- 観光施設と学術研究機関との連動
- 大型クルーズ船の寄港基地化
- 水産・海洋に関する資料の充実



大型クルーズ旅客船「飛鳥II」

▶ 函館市臨海研究所の整備

函館市臨海研究所は、函館の歴史的建造物である旧函館西警察署庁舎を「臨海研究所」として再整備し、水産・海洋関連産業の技術の高度化や水産振興に貢献する貸研究施設として、平成19年4月に供用を開始しました。



函館市臨海研究所

▶ 函館イカマイスター認定制度

函館の代表的な水産物である「イカ」について、その生態から流通、加工、料理法などについて熟知する「函館イカマイスター」を養成し認定することで、イカについての理解と消費を促進し、観光客への説明や紹介などを通じ、地域ブランドの強化や観光業の活性化などを目指した取り組みです。



水産・海洋と市民生活の調和

- 市民と観光客の“海とのふれあいの場”としての港や漁港の活用
- マリンスポーツの振興
- 海に関連する様々な社会活動の展開
- 水産・海洋に関するシンポジウム・イベント等の開催
- まちかど水族館の創出

▶ まちかどデジタル水族館

空港待合室などの人通りの多い公共の場に大型ディスプレイを設置し、函館周辺の海や生物の魅力を市民や観光客に伝える。



▶ 市民講座やシンポジウムの開催



▶ 「海」のイベントの開催

海を知り、海とふれ合うためのイベントや、マリンスポーツの振興などのイベントを開催しています。

▶ 新水産・海洋都市はこだてを支える人材養成事業



タッチプール



乗船実習

● 函館市へのアクセス



鉄道

札幌駅	約3時間	
仙台駅	約1時間45分	約2時間30分
東京駅	約3時間20分	約2時間30分

新青森駅

函館駅



航空路

札幌(新千歳空港)	約40分
札幌(丘珠空港)	約45分
東京(羽田空港)	約1時間20分
名古屋(中部空港)	約1時間25分
大阪(関西空港)	約1時間35分

函館空港



北海道新幹線開業でますます便利に！

2015年度末

北海道新幹線開業！

● 函館市の概要

● 人口

274,151人(平成26年1月末現在)

● 面積

677.95平方km

● 位置

東経 140度44分 北緯 41度46分



特別史跡五楼剎跡



ハリストス正教会



八幡坂から望む函館港



旧金森倉庫群



函館市

一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構

〒040-0051 函館市弁天町20番5号

TEL: 0138-21-4700 FAX: 0138-21-4601

URL : <http://www.marine-hakodate.jp>

E-mail : office@marine-hakodate.jp